スモールセルアプリケーション用
波形ファイル
取扱説明書

第3版

・製品を適切・安全にご使用いただくために，製品をご使用になる前に，本書を必ずお読みください。
・本書に記載以外の各種注意事項は，MT8870A ユニバーサルワイヤレステストセット取扱説明書に記載の事項に準じますので，そちらをお読みください。
・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

管理番号：M-W3707AW-3.0

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために，危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分に理解した上で機器を操作してください。
下記の表示およびシンボルは，そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また，外観図などが本書に含まれるとき，製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について

⚠ 危険	回避しなければ，死亡または重傷に至る切迫した危険があることを示します。
⚠ 警告	回避しなければ，死亡または重傷に至るおそれがある潜在的な危険があることを示します。
⚠ 注意	回避しなければ，軽度または中程度の人体の傷害に至るおそれがある潜在的危険，または，物的損害の発生のみが予測されるような危険があることを示します。

機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに，または本書に，安全上および操作上の注意を喚起するための表示があります。
これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分に理解して，注意に従ってください。



禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。



守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。



警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。



注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。



このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。

スモールセルアプリケーション用波形ファイル
取扱説明書

2014年（平成26年）８月29日（初　版）
2022年（令和４年）１月21日（第３版）

• 予告なしに本書の製品操作・取り扱いに関する内容を変更することがあります。
• 許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
Copyright © 2014-2022, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は，本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

保証

- アンリツ株式会社は，本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にもかかわらず，実質的に動作しなかった場合に，無償で補修または交換します。
- その保証期間は，購入から 6 か月間とします。
- 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は，購入時から 6 か月以内の残余の期間，または補修もしくは交換後から 30 日のいずれか長い方の期間とします。
- 本ソフトウェアの不具合の原因が，天災地変などの不可抗力による場合，お客様の誤使用の場合，またはお客様の不十分な管理による場合は，保証の対象外とさせていただきます。

また，この保証は，原契約者のみ有効で，お客様から再販売されたものについては保証しかねます。

なお，本製品の使用，あるいは使用不能によって生じた損害およびお客様の取引上の損失については，責任を負いかねます。ただし，その損害または損失が，当社の故意または重大な過失により生じた場合はこの限りではありません。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については，本書（紙版説明書では巻末，電子版説明書では別ファイル）に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり，外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので，国外へ持ち出して使用された場合，当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は，輸出および国外持ち出しの際には，「外国為替及び外国貿易法」により，日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また，米国の「輸出管理規則」により，日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。
   本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は，事前に必ず当社の営業担当までご連絡ください。
   輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は，軍事用途等に不正使用されないように，破砕または裁断処理していただきますようお願い致します。

ソフトウェア使用許諾

お客様は，ご購入いただいたソフトウェア（プログラム，データベース，電子機器の動作・設定などを定めるシナリオ等を含み，以下「本ソフトウェア」と総称します）を使用（実行，インストール，複製，記録等を含み，以下「使用」と総称します）する前に，本「ソフトウェア使用許諾」（以下「本使用許諾」といいます）をお読みください。お客様から本使用許諾の規定にご同意いただいた場合のみ，お客様は，本使用許諾に定められた範囲において本ソフトウェアをアンリツが推奨または指定する装置（以下，「本装置」といいます）に使用することができます。お客様が本ソフトウェアを使用したとき，当該ご同意をいただいたものとします。

第 1 条 （許諾，禁止内容）

1. お客様は，本ソフトウェアを有償・無償にかかわらず第三者へ販売，開示，移転，譲渡，賃貸，リース，頒布し，または再使用させる目的で複製，開示，使用許諾することはできません。
2. お客様は，本ソフトウェアをバックアップの目的で，1 部のみ複製を作成できます。
3. 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング，逆アセンブルもしくは逆コンパイル，または改変もしくは派生物（二次的著作物）の作成は禁止させていただきます。
4. お客様は，本ソフトウェアを本装置 1 台で使用できます。

第 2 条 （免責）

アンリツは，お客様による本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる損害，第三者からお客様に請求された損害を含め，一切の損害について責任を負わないものとします。ただし，当該損害がアンリツの故意または重大な過失により生じた場合はこの限りではありません。

第 3 条 （修補）

1. お客様が，取扱説明書に書かれた内容に基づき本ソフトウェアを使用していたにもかかわらず，本ソフトウェアが取扱説明書もしくは仕様書に書かれた内容どおりに動作しない場合（以下「不具合」といいます）には，アンリツは，アンリツの判断に基づいて，本ソフトウェアを無償で修補，交換し，または不具合回避方法のご案内をするものとします。ただし，以下の事項による本ソフトウェアの不具合および破損，消失したお客様のいかなるデータの復旧を除きます。
   a) 取扱説明書・仕様書に記載されていない使用目的での使用
   b) アンリツが指定した以外のソフトウェアとの相互干渉
   c) アンリツの承諾なく，本ソフトウェアまたは本装置の修理，改造がされた場合
   d) 他の装置による影響，ウイルスによる影響，災害，その他の外部要因などアンリツの責めとみなすことができない要因があった場合
2. 前項に規定する不具合において，アンリツが，お客様ご指定の場所で作業する場合の移動費，宿泊費および日当に係る現地作業費については有償とさせていただきます。
3. 本条第 1 項に規定する不具合に係る保証責任期間は本ソフトウェア購入後 6 か月または修補後 30 日いずれか遅い方の期間とさせていただきます。

第 4 条 （法令の遵守）

お客様は，本ソフトウェアを，直接，間接を問わず，核，化学・生物兵器およびミサイルなど大量破壊兵器および通常兵器，ならびにこれらの製造設備等・関連資機材等の拡散防止の観点から，日本国の「外国為替及び外国貿易法」およびアメリカ合衆国「輸出管理法」その他国内外の関係する法律，規則，規格等に違反して，いかなる仕向け地，自然人もしくは法人に対しても輸出しないものとし，また輸出させないものとします。

第 5 条 （規定の変更）

アンリツは，本使用許諾の規定の変更が，お客様の一般の利益に適う場合，または本使用許諾の目的および変更に係る諸事情に照らして合理的な場合に，お客様の承諾を得ることなく変更を実施することができます。変更にあたりアンリツは，原則として 45 日前までに，その旨（変更後の内容および実施日）を自己のホームページに掲載し，またはお客様に書面もしくは電子メールで通知します。

第 6 条 （解除）

1. アンリツは，お客様が，本使用許諾のいずれかの条項に違反したとき，アンリツの著作権およびその他の権利を侵害したとき，暴力団等反社会的な団体に属しもしくは当該団体に属する者と社会的に非難されるべき関係があることが判明したとき，または法令に違反したとき等，本使用許諾を継続できないと認められる相当の事由があるときは，直ちに

本使用許諾を解除することができます。

2. お客様またはアンリツは，30 日前までに書面で相手方へ通知することにより，本使用許諾を終了させることができます。

第 7 条 （損害賠償）

お客様が本使用許諾の規定に違反した事に起因してアンリツが損害を被った場合，アンリツはお客様に対して当該損害の賠償を請求することができます。

第 8 条 （解除後の義務）

お客様は，第 6 条により，本使用許諾が解除されまたは終了したときは直ちに本ソフトウェアの使用を中止し，アンリツの求めに応じ，本ソフトウェアおよびそれらに関する複製物を含めアンリツに返却または廃棄するものとします。

第 9 条 （協議）

本使用許諾の条項における個々の解釈について生じた疑義，または本使用許諾に定めのない事項について，お客様およびアンリツは誠意をもって協議のうえ解決するものとします。

第 10 条（準拠法）

本使用許諾は，日本法に準拠し，日本法に従って解釈されるものとします。本使用許諾に関する紛争の第一審の専属的合意管轄裁判所は，東京地方裁判所とします。

(改定履歴)

2020 年 2 月 29 日

計測器のウイルス感染を防ぐための注意

- ファイルやデータのコピー
  当社より提供する，もしくは計測器内部で生成されるもの以外，計測器にはファイルやデータをコピーしないでください。
  前記のファイルやデータのコピーが必要な場合は，メディア (USB メモリ，CF メモリカードなど) も含めて事前にウイルスチェックを実施してください。
- ソフトウェアの追加
  当社が推奨または許諾するソフトウェア以外をダウンロードしたりインストールしたりしないでください。
- ネットワークへの接続
  接続するネットワークは，ウイルス感染への対策を施したネットワークを使用してください。

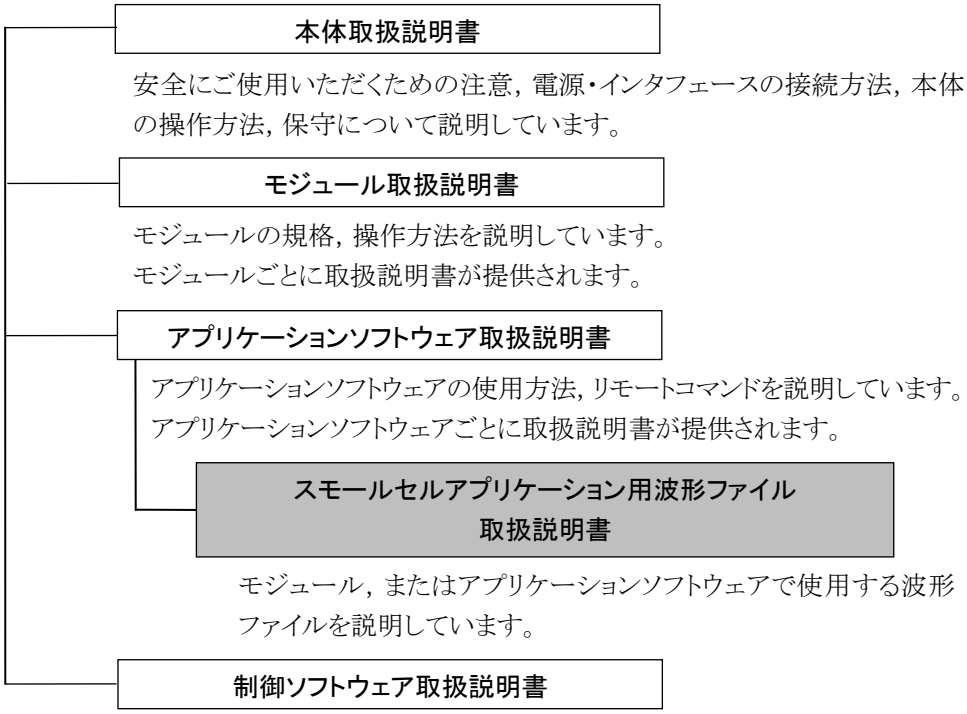
はじめに

この説明書は，MT8870A ユニバーサルワイヤレステストセットで使用する
スモールセルアプリケーション用波形ファイルについて記述したものです。

MT8870A ユニバーサルワイヤレステストセットに関連する製品には，以下があります。

- MT8870A ユニバーサルワイヤレステストセット（本体）
- MT8870A に装着されるモジュール
- MT8870A にインストールされるアプリケーションソフトウェア
- パーソナルコンピュータにインストールして MT8870A をリモート制御する制御ソフトウェア

これらの製品群をユニバーサルワイヤレステストセットシリーズと呼びます。ユニバーサルワイヤレステストセットシリーズの取扱説明書は，以下のように，本体，モジュール，アプリケーションソフトウェア，および制御ソフトウェアに分かれて構成されています。▭ は，本書を示します。



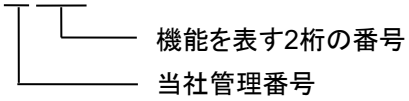
このマニュアルの表記について

本書では，特に支障のない限り，MT8870A とMU887000A での使用を前提に説明をします。
MT8872A，MU887001A，MU887002A を使用される場合は，読み替えてご使用ください。MU887000A/01A は，MU887000A または MU887001A を示します。

また，オプション形名の当社管理番号は，理由のない限り「0」として記述します。

オプション形名： オプション形名は下記のように 3 桁の数字で表示されます。

MU88700XA- x x x



目次

はじめに I

第 1 章　波形ファイルの概要 1-1

1.1　波形ファイルの紹介 1-2
1.2　製品構成 1-3
1.3　省略語 1-4

第 2 章　ご使用になる前に 2-1

2.1　設備 2-2
2.2　波形ファイルのインストール 2-3
2.3　波形ファイルの使用 2-4

第 3 章　波形ファイルの詳細 3-1

3.1　W-CDMA/HSPA 波形ファイル 3-2
3.2　LTE FDD 波形ファイル 3-4

付録 A　MS2830A 波形ファイルとの対応 A-1

IV.

第1章　波形ファイルの概要

ここでは，スモールセルアプリケーション用波形ファイルの概要と製品構成について説明します。

1.1　波形ファイルの紹介 1-2
1.2　製品構成 1-3
1.3　省略語 1-4

1.1　波形ファイルの紹介

MT8870A ユニバーサルワイヤレステストセット（以下，MT8870Aと呼びます）は，ファイルに保存されている IQ データを読み込んで，デジタル変調信号を出力することができます。

スモールセルアプリケーション用波形ファイルは，移動体通信の規格で規定された変調信号を出力するための IQ データを提供します。
スモールセルアプリケーション用波形ファイルを MT8870A に読み込んで，デジタル変調信号を出力することにより，Local Area BS および Home BS（以降，スモールセルと総称する）の性能を試験できます。

表1.1-1　スモールセルアプリケーション用波形ファイル

形名	品名
MV887021A	W-CDMA/HSPA Uplink 波形ファイル
MV887023A	LTE FDD Uplink 波形ファイル

1.2 製品構成

スモールセルアプリケーション用波形ファイルの製品構成は次のとおりです。
複数の波形ファイルが 1 つの DVD にまとめて収納されることがあります。

表1.2-1 MV887021A 構成

形名・記号	品名	数量	備考
	DVD	1	
MV887021A	W-CDMA/HSPA Uplink 波形ファイル		DVD に含まれます。
W3707AW	スモールセルアプリケーション用波形ファイル 取扱説明書		和文，DVD に含まれます。

表1.2-2 MV887023A 構成

形名・記号	品名	数量	備考
	DVD	1	
MV887023A	LTE FDD Uplink 波形ファイル		DVD に含まれます。
W3707AW	スモールセルアプリケーション用波形ファイル 取扱説明書		和文，DVD に含まれます。

1.3　省略語

本書の説明で使用している省略語を次の表に示します。

表1.3-1　省略語

省略語	正式名
3GPP	Third Generation Partnership Project
BS	Base Station
CDMA	Code Division Multiple Access
DL	Downlink
FDD	Frequency Division Duplex
HSPA	High Speed Packet Access
LTE	Long Term Evolution
UL	Uplink
W-CDMA	Wideband CDMA

ここでは，スモールセルアプリケーション用波形ファイルをご使用になる前の準備について説明します。

2.1　設備 2-2
2.2　波形ファイルのインストール 2-3
2.3　波形ファイルの使用 2-4
2.3.1　MU887000A のコマンドで使用する場合 2-4
2.3.2　スモールセルアプリケーションソフトウェアから使用する場合 2-6

2.1　設備

スモールセルアプリケーション用波形ファイルを使用するには，次の装置が必要です。

表2.1-1　必要設備

形名	品名
MT8870A/72A	ユニバーサルワイヤレステストセット
MU887000A/01A/02A	送受信テストモジュール

2.2 波形ファイルのインストール

DVD で提供される波形ファイルを使用するには，MT8870A に波形ライセンスを登録し，MU887000A に波形ファイルを転送します。

波形ライセンスの登録と波形ファイルの転送は，どちらが先でも構いません。

1. MU887000A に添付されている MX887900A ユーティリティツールを起動します。
   MX887900A ユーティリティツールの使用方法は，『MU887000A 送受信テストモジュール取扱説明書』の「第 8 章 ユーティリティツール」を参照してください。
2. DVD 内の波形ファイルおよび波形ライセンスファイルをパーソナルコンピュータにコピーします。

   使用する波形ファイルの波形ライセンスが MT8870A に登録済みの場合は，波形ライセンスファイルのコピーは不要です。

   登録済みライセンスの確認方法は，『MU887000A 送受信テストモジュール取扱説明書』の「8.3.11 ライセンス登録」を参照してください。
3. ユーティリティツールの波形ファイル転送機能で，波形ファイルを MU887000A に転送します。

   波形ファイルを MU887000A に個別に転送する場合は，『MU887000A 送受信テストモジュール取扱説明書』の「8.3.9 ファイル転送」を参照してください。

   波形ファイルを複数の MU887000A に一括して転送する場合は，『MU887000A 送受信テストモジュール取扱説明書』の「8.3.12 波形ファイル転送」を参照してください。
4. 使用する波形ファイルの波形ライセンスが MT8870A に未登録の場合，ユーティリティツールのライセンス登録機能で，波形ライセンスを MT8870A に登録します。

   登録済みライセンスの確認方法，およびライセンス登録の方法は，『MU887000A 送受信テストモジュール取扱説明書』の「8.3.11 ライセンス登録」を参照してください。

波形ファイルおよび波形ライセンスは，不揮発メモリに保存されます。MT8870A の電源を切っても転送しなおす必要はありません。

2.3　波形ファイルの使用

2.3.1　MU887000A のコマンドで使用する場合

波形ファイルの使用に関するコマンドを説明します。コマンドの詳細は，『MU887000A 送受信テストモジュール 取扱説明書』を参照してください。

波形ファイルを使用して変調信号を出力するには，波形ファイルを不揮発メモリから波形メモリに読み込みます。

- 波形ファイルの読み込み
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD`
- 波形読み込み状態の確認
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD:STATus`
- 波形ファイルの読み込み中止
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD:CANCel`

波形メモリ空き容量が不足している場合は，波形ファイルを読み込むことができません。
この場合，使用しない波形ファイルを波形メモリから削除して，空き容量を増やします。

- 波形メモリの空き容量問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:FREE`
- 波形メモリのデフラグ実行
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:DEFRag`
- ファイル数問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:COUNt`
- ファイル名問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:NAME`
- 波形ファイルの削除
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:DELete`
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:DELete:ALL`

波形メモリ上に存在する波形の中から再生する波形を指定します。

- 波形ファイルバージョン問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:VERSion`
- グループ数問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:COUNt`
- グループ番号問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern`
- グループタイトル問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:NAME`
- 再生する波形の選択
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:SELect`
- 波形リスタート
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:RESTart`

使用例

波形ファイル MV887023A_LTEFDD_0001 のグループ番号 4 を指定します。

1. 動作モードをノーマルモードに設定します。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:MODE NORMAL
```

2. 変調を有り（任意波形）に設定します。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:BBMode ARB
```

3. 波形ファイルを波形メモリに読み込みます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD
"MV887023A_LTEFDD_0001"
```

4. 波形ファイルのグループ数を問い合わせます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:COUNt?
"MV887023A_LTEFDD_0001"
> 6
```

5. グループ番号 4 のグループタイトルを問い合わせます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:NAME?
"MV887023A_LTEFDD_0001",4
> "BS Test/FRC(UL) : A1-3, UL Wave 10MHz, UL Info :
StartRB=0 SizeRB=25 QPSK"
```

6. 波形を指定します。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:SELect
"MV887023A_LTEFDD_0001",4,1
```

2.3.2　スモールセルアプリケーションソフトウェアから使用する場合

波形ファイルの使用に関するコマンドを説明します。コマンドの詳細は，次の取扱説明書を参照してください。

『MU887000A 送受信テストモジュール 取扱説明書』
『MX887021A W-CDMA/HSPA Downlink 送信測定 取扱説明書』
『MX887023A LTE FDD Downlink 送信測定 取扱説明書』

波形ファイルを使用して変調信号を出力するには，波形ファイルを不揮発メモリから波形メモリに読み込みます。

- 波形ファイルの読み込み
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD`
- 波形ファイルの読み込み中止
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD:CANCel`

波形メモリ空き容量が不足している場合は，波形ファイルを読み込むことができません。
この場合，使用しない波形ファイルを波形メモリから削除して，空き容量を増やします。

- ファイル数問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:COUNt`
- ファイル名問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:NAME`
- 波形ファイルの削除
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:DELete`
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:DELete:ALL`

波形メモリ上に存在する波形の中から再生する波形を指定します。

- ファイル名問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:NAME`
- グループ数問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:COUNt`
- グループタイトル問い合わせ
  `:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:NAME`
- スモールセルアプリケーション専用 SG コマンドの有効化
  `SYS SG`
  `:INSTrument:SYSTem SG`
- 再生する波形の選択
  `PAT`
  `:SOURce:RADio:ARB:WAVeform`

使用例

波形ファイル MV887021A_WCDMA_0002 のグループ番号 1 を指定します。

1. 動作モードをノーマルモードに設定します。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:MODE NORMAL
```

2. スモールセルアプリケーション専用 SG コマンドを有効にします。

```
:INSTrument:SYSTem SG
```

3. 変調を有り（任意波形）に設定します。

```
:OUTPut:MODulation:STATe ON
```

4. 波形ファイルを波形メモリに読み込みます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:FILE:LOAD
"MV887021A_WCDMA_0002"
```

5. 波形ファイルのグループ数を問い合わせます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:COUNt?
"MV887021A_WCDMA_0002"
> 5
```

6. グループ番号 1 のグループタイトルを問い合わせます。

```
:SOURce:GPRF:GENerator:ARB:WAVeform:PATTern:NAME?
"MV887021A_WCDMA_0002",1
> "WCDMA BS Test Model 1 DPCHx64, Single Carrier, OSR=4,
Scrambling Code 0x00"
```

7. 波形を指定します。

```
:SOURce:RADio:ARB:WAVeform "MV887021A_WCDMA_0002",1
```

第3章　波形ファイルの詳細

ここでは，スモールセルアプリケーション用波形ファイルの詳細仕様を説明します。

3.1　W-CDMA/HSPA 波形ファイル 3-2
3.1.1　MV887021A_WCDMA_0001..... 3-3
3.1.2　MV887021A_WCDMA_0002..... 3-3
3.2　LTE FDD 波形ファイル..... 3-4
3.2.1　MV887023A_LTEFDD_0001..... 3-5
3.2.2　MV887023A_LTEFDD_0002..... 3-5

3.1　W-CDMA/HSPA 波形ファイル

W-CDMA/HSPA 波形ファイルの仕様を次の表に示します。

表3.1-1　W-CDMA/HSPA 波形ファイルの仕様

項目		仕様	
波形ファイル名		MV887021A_WCDMA_0001	MV887021A_WCDMA_0002
用途		受信試験 (Receiver sensitivity level)	送信試験 (Transmitter intermodulation)
波形種別		W-CDMA Uplink	W-CDMA Downlink
グループ数		1	5
グループタイトル		表 3.1.1-1 を参照	表 3.1.2-1 を参照
波形周期 / グループ		1022 [Frame]	1 [Frame]
グループ繰り返し周期		1022 [Frame]	1 [Frame]
波形マーカ	マーカ 1	-	-
	マーカ 2	-	-
	マーカ 3	-	-

3.1.1 MV887021A_WCDMA_0001

波形ファイル名

MV887021A_WCDMA_0001

グループ数

1

表3.1.1-1 MV887021A_WCDMA_0001 構成

グループ(パターン)番号	タイトル	アップリンク情報
1	WCDMA UL RMC 12.2kbps, Single Carrier, OSR=3, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 A.2 UL reference measurement channel for 12,2 kbps に従う。

3.1.2 MV887021A_WCDMA_0002

波形ファイル名

MV887021A_WCDMA_0002

グループ数

5

表3.1.2-1 MV887021A_WCDMA_0002 構成

グループ(パターン)番号	タイトル	ダウンリンク情報
1	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx64, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 6.1.1.1 Test Model 1 に従う。
2	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx32, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 6.1.1.1 Test Model 1 に従う。
3	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx16, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 6.1.1.1 Test Model 1 に従う。
4	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx8, Single Carrier, OSR=8, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 6.1.1.1 Test Model 1 に従う。
5	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx4, Single Carrier, OSR=8, Scrambling Code 0x00	3GPP TS 25.141 6.1.1.1 Test Model 1 に従う。

3.2　LTE FDD 波形ファイル

LTE FDD 波形ファイルの仕様を次の表に示します。

表3.2-1　LTE FDD 波形ファイルの仕様

項目		仕様	
波形ファイル名		MV887023A_LTEFDD_0001	MV887023A_LTEFDD_0002
用途		受信試験 (Receiver sensitivity level)	送信試験 (Transmitter intermodulation)
波形種別		LTE Uplink	LTE Downlink
グループ数		6	1
グループタイトル		表 3.2.1-1 を参照	表 3.2.2-1 を参照
波形周期 / グループ		4 [Frame]	1 [Frame]
グループ繰り返し周期		4 [Frame]	1 [Frame]
波形マーカ	マーカ 1	Uplink Frame 先頭	Downlink Frame 先頭
	マーカ 2	Uplink Subframe 先頭	Downlink Subframe 先頭
	マーカ 3	Uplink OFDM Symbol 先頭	Downlink OFDM Symbol 先頭

3.2.1 MV887023A_LTEFDD_0001

波形ファイル名

MV887023A_LTEFDD_0001

グループ数

6

表3.2.1-1 MV887023A_LTEFDD_0001 構成

グループ(パターン)番号	タイトル	アップリンク情報
1	BS Test/FRC(UL) : A1-1, UL Wave 1.4MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=6 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-1 に従う。
2	BS Test/FRC(UL) : A1-2, UL Wave 3MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=15 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-2 に従う。
3	BS Test/FRC(UL) : A1-3, UL Wave 5MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=25 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-3 に従う。
4	BS Test/FRC(UL) : A1-3, UL Wave 10MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=25 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-3 に従う。
5	BS Test/FRC(UL) : A1-3, UL Wave 15MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=25 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-3 に従う。
6	BS Test/FRC(UL) : A1-3, UL Wave 20MHz, UL Info : StartRB=0 SizeRB=25 QPSK	3GPP TS 36.141 A.1 Table A.1-1 A1-3 に従う。

3.2.2 MV887023A_LTEFDD_0002

波形ファイル名

MV887023A_LTEFDD_0002

グループ数

1

表3.2.2-1 MV887023A_LTEFDD_0002 構成

グループ(パターン)番号	タイトル	ダウンリンク情報
1	BS Test/E-TM:1.1, DL Wave 5MHz	3GPP TS 36.141 6.1.1.1 E-UTRA Test Model 1.1 (E-TM1.1) に従う。

付録 A　MS2830A 波形ファイルとの対応

ここでは，本書に記載している波形ファイルと，MS2830A シグナルアナライザの波形ファイルとの対応を示します。

A.1　MS2830A 波形ファイルとの対応 A-2

A.1　MS2830A 波形ファイルとの対応

『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A シグナルアナライザ ベクトル信号発生器 取扱説明書 標準波形パターン編 第 9 版』に記載の MS2830A 標準波形パターンと MT8870A 波形ファイルとの対応を示します。

表 A.1-1　MS2830A 波形ファイルとの対応

MT8870A 波形ファイル			MS2830A 標準波形パターン
波形ファイル名	グループ番号	グループタイトル	
MV887021A_WCDMA_0001	1	WCDMA UL RMC 12.2kbps, Single Carrier, OSR=3, Scrambling Code 0x00	UL_RMC_12_2kbps
MV887021A_WCDMA_0002	1	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx64, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	TestModel_1_64DPCH
	2	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx32, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	TestModel_1_32DPCH
	3	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx16, Single Carrier, OSR=4, Scrambling Code 0x00	TestModel_1_16DPCH
	4	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx8, Single Carrier, OSR=8, Scrambling Code 0x00	TestModel_1_8DPCH
	5	WCDMA BS Test Model 1 DPCHx4, Single Carrier, OSR=8, Scrambling Code 0x00	TestModel_1_4DPCH